

平成28年度河川環境学習報告

1 河川環境学習の目的

河川環境学習は、河川の調査活動を通して、次の

3点を目的として行いました。

- ①身近な水辺と地域との関わりを深く知る。
- ②身近な水辺環境への関心を高める。
- ③水環境保全の態度を養う。

2 実施状況

- (1) 調査河川：県内の5河川
- (2) 実施学校：県内の小学校5校
- (3) 実施時期：平成28年11月～12月

3 河川環境学習の内容

総合的な河川調査法である「水辺のすこやかさ指標（環境省，2009）」を活用しました。

水辺のすこやかさ指標は、次の5軸より成り立っています。

- 指標1 自然なすがた：自然がどのくらい残されているか
- 指標2 ゆたかな生きもの：生きものの豊かさはどうか
- 指標3 水のきれいさ：水のきれいさ、清らかさはどうか
- 指標4 快適な水辺：水環境のきれいさや静かさはどうか
- 指標5 地域とのつながり：水環境と人とのつながりはどうか

センター版「水辺のすこやかさ調べ」ワークシートと5つの指標

4 実施内容

○茨城町立葵小学校 4年生 55名

実施時期：平成28年11月18日（金）
 調査場所：真端（涸沼川上流，城里町）→大古山橋（涸沼川中流，笠間市大古山）→大貫橋（涸沼川下流，大洗町大貫町）→^{いわね}巖船の夕照・^{せきしょう}海門橋下（涸沼川河口，大洗町磯浜町）

涸沼川上流の真端では、たも網を使って魚や水生昆虫の調査を行いました。水がとてもきれいで、カ

ジカ、アカハライモリ、サワガニ、ホトケドジョウ、カゲロウの幼虫、ヘビトンボの幼虫、コオイムシなど、多くの生きものを採集することができました。涸沼川中流の大古山橋では、川原や川底に花崗岩、泥岩、砂岩、チャート、石灰岩など、たくさんの丸みを帯びた石が見られ、流れのはたらきで石の角が取れていくことを実感することができました。涸沼川河口の那珂川との合流地点では、水戸第9代藩主徳川齊昭が選んだ水戸八景の一つである「巖船の夕照^{いわふねせきしょう}」からの景色を眺めました。



真端での魚や水生昆虫採集の様子



採集したカジカやヘビトンボの幼虫など

○銚田市立銚田北小学校 4年生 80名

実施時期：平成28年11月29日（火）

調査場所：愛宕山（巴川源流，笠間市）→小美玉温泉ことぶき（巴川中流，小美玉市上吉影）→串挽（巴川下流，銚田市）

笠間市の愛宕山では、まず巴川の源流の観察を行いました。生きものではカゲロウの幼虫やヨコエビを見つけることができました。その後、地元の民話の会の方に愛宕山にまつわる昔話「虎吉」の語りをして頂き、また、愛宕山四季の会の方には愛宕山の自然や分水嶺について話を伺いました。小美玉温泉ことぶき近くの巴川中流では、小美玉生物の会の方にご協力頂き、魚や水生昆虫、水生植物の観察を行いました。銚田市串挽では、巴川の下流の様子を観察しました。



巴川源流の標識



小美玉生物の会の方による観察の様子

○かすみがうら市立七会小学校 5年生 14名

実施時期：平成28年12月8日（木）

調査場所：雪入ふれあいの里公園（雪入川源流，かすみがうら市）→新治橋（天の川中流，かすみがうら市新治）→愛郷橋（恋瀬川下流，石岡市高浜）

雪入ふれあいの里公園近くの七曲では、恋瀬川の支流である雪入川の上流の様子を観察しました。生きものとしてはサワガニ、カゲロウの幼虫を見つけることができました。雪入ふれあいの里公園では、

所長の川崎先生の案内で湧水の桜沢を見たり，野鳥の観察についての指導を受けたりしました。その後も，川崎先生には野鳥観察のために調査に同行頂き，天の川の中流ではオオタカ，恋瀬川の下流ではカワウ，ダイサギ，カモの仲間などを観察することができました。



新治橋での川の観察の様子



恋瀬川の下流で泳ぐカモの仲間

○稲敷市立江戸崎小学校 5年生 61名

実施時期：平成28年12月9日（水）

調査場所：北条堰（桜川中流，つくば市国松）→岡見大橋（小野川中流，牛久市岡見）→古渡橋（小野川河口，稲敷市古渡）

桜川の中流では，水田に水を引くために造られた，ゴム製で注入する空気の量で流量を調整できる堰である北条堰を見学したり，川原で内側と外側での川の流れの違いや堆積の様子の違い，落ちていた石の特徴を観察したりしました。小野川中流の岡見大橋では，川底に露出している，霞ヶ浦が海だった頃に生きていた貝化石の観察を行いました。古渡橋では，小野川と霞ヶ浦の境界の様子を観察しました。



小野川河口の様子と河川管理境界の看板



小野川中流の川底に見られる貝化石

○土浦市立真鍋小学校 5年生 132名

実施時期：平成28年12月13日（火）・15日（木）・16日（金）・21日（水）

調査場所：筑波山神社わき（男女川源流（桜川支流），つくば市筑波）→北条堰（桜川中流，つくば市国松）→土浦橋（桜川下流，土浦市千束町）

筑波山神社市営第3駐車場わきでは，桜川の支流である男女川の源流の観察を行いました。大きなごつごつとした転石の間をぬけてきれいな水が流れてくる様子や，生きものとしてカゲロウの幼虫を観察することができました。桜川の中流では，ゴム製の堰である北条堰を見学したり，川原に降りて落ちて

いる石の様子や川の流れの様子を観察したりしました。桜川下流の土浦橋付近では、川岸に生えているヨシの様子を観察したり、上流、中流と比較しての川幅や水量の変化などを確認したりしました。



男女川の源流で見つけたカゲロウの幼虫



土浦橋付近での水辺のすこやかさ調査の様子